

令和8年度「経営者講習会と通常総会」開催

栃木県建設業協会青年経営者連合会

6月15日、栃木県建設業協会青年経営者連合会（青経連）の経営者講習会と通常総会がホテルニューイタヤで開催されました。

経営者講習会は2部構成で開催され、第1部は燈株式会社の笠原章氏、第2部はNDIソリューションズ株式会社の増田浩和氏を講師に迎え、「人手不足時代に勝つ建設会社のAI経営」、「危険を知り、危険を伝え、現場を守る。建設業のAI実装戦略」をテーマにそれぞれ講演が行われました。



岩澤青経連前会長

その後開催された通常総会では、岩澤青経連会長から「建設業界を取り巻く環境が大きく変化する中、経営者が自ら学び、新たな知識や技術を経営に活かしていくことが重要である。今後

後も次世代への魅力発信や、行政・発注者との意見交換などを推進し、青年経営者ならではの発想と行動力で業界と地域の未来を切り拓いていきたい」と挨拶がありました。

続いて、来賓の谷黒協会長から「深刻化する担い手不足の中、次世代へ建設業の魅力を届ける『建FES GO!』の取り組みは大変心強い。一段と厳しさを増す業界環境だからこそ、若手経営者の皆様の柔軟な発想と優れた実行力こそが、未来を切り拓く原動力になると確信しており、さらなる研鑽と今後の活躍を大いに期待している」と祝辞がありました。

議事では、令和7年度の事業として、職業体験を通じて子どもたちや保護者に建設業をPRするイベント「建FES GO!」や、「とちけん小町による魅力発信プロジェクト」として、小学生向け防災講話・建設業体験会の開催、土木事務所や自民党青年局との意見交換会などが報告されました。続けて令和8年度の事業計画として、「建FES GO!」や各団体との

意見交換会の継続開催に加え、「全国・関東建設青年会議」への参加、「北関東三県合同会議」の開催など、各種活動に積極的に取り組んでいくことが説明されました。

また、本年は役員改選期にあたり、新執行部として、会長に上澤宏行氏（鶴見建設㈱・芳賀支部）、副会長に津野田哲氏（㈱津野田土木・宇都宮支部）と飯野敦司氏（㈱中津工業・鹿沼支部）、幹事長に船山浩司氏（船山建設工業㈱・塩谷支部）、副幹事長に亀田好人氏（三陽建設㈱・安蘇支部）が選出されました。新執行部を代表して、上澤新会長から、岩澤会長への2年間の感謝の言葉と今後の活動の抱負が述べられました。



新執行部

